令和6年10月11日

保護者各位

鳥栖市立若葉小学校
校長 江頭 尚子

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和6年度全国学力・学習状況調査について

令和6年4月18日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・平均正答率は、ほぼ全ての内容で全国の平均正答率を上回っていました。
- ・短答式・記述式いずれの問題でも無解答率が全国平均より大きく下回っており、自分の考えを何とか表そうとする意欲がよく見られました。
- ・「知識及び技能」の観点の問題では、全国正答率を大きく上回っており、特に、言葉の特徴を捉え正しく使うなどの基礎的な事項がよく身に付いていることがうかがえます。
- ・「思考・判断・表現」の観点についても、多くの問題で高い正答率を得ていました。しかし、物語の登場人物の相互関係や心情を、その描写から捉える問題の正答率が、全国平均を若干下回っていました。文章を的確に読み取る力を高めていく指導の必要があることが分かります。

(2) 算数について

- ・平均正答率は、全国の平均正答率とほぼ同等でしたが、内容によってはやや下回る領域や観点があり、無解答率が高い問題も若干見られたため、今後の指導改善の必要を感じます。
- ・「知識及び技能」の観点の問題では全国正答率とほぼ同等かやや下回っていました。「数と計算」の領域の問題は高い正答率でしたが、「図形」「データの活用」の領域の問題の正答率は全国平均を下回っていました。図形の基本性質の復習や、与えられた文章・図表・グラフ等から必要なことを読み取って考える学習、一定の条件の中で答えをまとめる学習等を、日々の授業で意識的に取り上げるなど、課題解決のための指導改善を行っていきます。
- ・記述式の問題について正答率が全国平均より高く、事象を式や言葉で表したり、理由を説明したりすることがよくできていました。日々の授業での積み重ねの成果だと考えます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

○全 63 の質問項目から、全国と比較したときに概ね良好(同等かそれ以上)な結果であった項目は以下の表中の通りです。

質問項目	本校の割合(%)	全国の割合(%)
①自分にはよいところがあると思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	90.1%	84.1%
②人が困っているときには、進んで助けていますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	100.0%	92.7%
③人の役に立つ人間になりたいと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	100.0%	95.9%
④いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	100.0%	96.7%
⑤学校に行くのは楽しいと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	91.8%	84.6%
⑥先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	96.8%	89.9%

- ・自分のよさについて自覚をもつことができる児童の割合が、全国平均と比べて高い結果でした(①)。家庭での教育はもちろん、全校で取り組んでいる互いのよさを認める活動など、自己肯定感を高める取組の影響も大きいと考えます。
- ・自分のことだけでなく周囲の人へも目を向け、自分にできることがあればやりたいという気持ちをもつ児童の割合が全国平均と比べて高く(②③)、温かく思いやりをもった児童が多いことがうかがわれました。
- ・いじめについての質問には、全児童が肯定的な回答をしていました(④)。また、学校に行くのを楽しいと感じている児童の割合も高かったです(⑤)。学校生活を楽しく過ごすためにも、「友達を大切にする」、「いじめはぜったいに許さない」という意識を一人一人が高くもっていることが結果から感じられます。児童の現在の気持ちを、今後も継続し、より豊かにするために、引き続き指導を行っていきます。
- ・学校で、教師に自分のよさを認められているという意識をもつ児童の割合が、全国平均に比べて高かったです。今後も、「ほめるから、はじめる。はじまる。」という佐賀県教育の合言葉を基本に、肯定的に児童と向き合う教育を行っていきます。
- ・朝食の摂取状況については、あまり食べていない・食べていないと答えた児童が全体の 0.5% いました。割合的には低いものの 0% を目指したいところです。毎日きまった時刻に起きる・寝ることについては、ほとんどの児童ができており、基本的な生活習慣の根幹が整っていると感じました。
- ・全国平均と比して気になる傾向を示している項目が2つありました。1つは、平日1日当たりのゲームや動画視聴の時間が長いことです(※印参照)。使い方の約束など、家庭での話し合いも必要かと思えます。

※ゲーム[4時間以上 21.3% 3時間以上 19.7% 2時間以上 21.3%]

※スマホ等での動画視聴[4時間以上 13.1% 3時間以上 9.8% 2時間以上 16.4%] ◆スマホ不所持 19.7%

もう1つは、家庭学習の時間の確保が不十分な児童がいることです。1日当たりの家庭学習時間が「30分未満、または、全くしない」と答えた児童が全体の 10% を超えています。今後、授業とつながる課題、自主的にじっくり取り組める課題等、家庭学習の見直しや工夫を行うとともに、家庭学習の大切さについても継続して指導していきます。

4 今後の改善策(児童の力をさらに伸ばすために)

- ・児童がより意欲的・主体的に学ぶことができるよう、児童の発言を大切にした対話の多い授業づくりを今後も継続して行います。また、学習や生活のふり返りを定期的に行い、自分の頑張りや課題を見つめさせ、意欲の継続を促し学習規律・習慣の充実を図ります。
- ・【家庭学習のしおり】を参考にご家庭でも次のようなことに心がけていただければと思います。

1 家庭での学習環境を整え、学習時間を確保してください。

◎学習する場所や時間を決め、学習習慣を身に付けさせましょう。

◎テレビやゲームの時間やルールを決め、長時間にならないようにしましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

◎「早寝・早起き・朝ご飯」で、元気とやる気の出る体と心を育てましょう。

◎会話を多くもち、お子さんががんばった過程やできたことを大いにほめましょう。